

WHO健康都市推進事業

[2]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0101	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	企画部 健康都市推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	全ての市民	人とまちの健康をまちづくりの中心に据え、従来の保健・医療分野に限らず、環境、教育、都市基盤整備などの行政における各分野が連携して、市民と協働で健康都市を築いていく。 「健康都市 尾張旭」の実現に向け、尾張旭市健康都市プログラム(平成26年3月改訂)に基づき、関連事業を連携して一体的な推進を継続する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	健康都市プログラムの推進のため、下記事項を実施する。 健康都市の取組の積極的なPR 「健康都市連合」に係る事業の実施 「健康都市連合日本支部」に係る事業の実施 事業者、市民活動団体、学校等対象の健康都市づくり事業の実施 「リーディングプラン」に沿った事業の展開 健康都市連合国際大会・理事会への参加 健康都市連合日本支部大会への参加 SDGs(持続可能な開発目標)に関する取組 その他健康都市・SDGsに関する研究・発信
	市民の健康をまち全体で支えていく取組(健康都市プログラム)が実践されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 健康マイスターの対象事業数	事業	208	254	200	254	
	B 健康都市連合に関するイベント・打合せの参加日数	日	20	3	20	16	
成果指標	C 本市が「健康都市」を目指していることを知っている市民割合	%	75.3	-	75	64.8	
	D 自ら健康づくりに取り組んでいる市民割合	%	62.3	-	65	59.5	
事業費 計			3,819	2,120	4,524	3,400	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		403		100	
		オ 一般		3,416	2,120	4,424	3,400

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)本市が「健康都市」を目指していることを知っている市民割合は、前回と比較し、10.5ポイント下降し、また、自ら健康づくりに取り組んでいる市民割合も、2.8ポイント減少している。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、健康都市であることのPRをする機会や、外出自粛などから健康づくりに取り組む機会が減ったことが原因と考えられる。</p>
--------	--	---

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	健康都市連合国際大会への参加と合わせて、健康都市及びSDGsの取組み方針について検討を行います。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
第9回健康都市連合国際大会へ参加し、Withコロナ時代における、からだ・こころ・まちの健康づくりの重要性を改めて実感し、あさひ健康マイスターの内容等、令和4年度事業に向けて準備を進めた。			

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0102	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	企画部 健康都市推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>全ての市民</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>市民一人ひとりが自身の健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組んでいる。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、4月1日～5月31日まで「あさひ健康フェスタ」を実施する。4月29日「尾張旭市 健康の日」には「あさひ健康フェスタリアルイベント」を開催し、健康都市づくり(人の健康、まちの健康)の各種事業を通して、市民の健康意識をさらに高める。市民自ら健康づくりに取り組む機会を提供し、市を挙げて「健康都市」を発信する。また、どのイベントもSDGsと関連付けて、SDGsについても楽しく学べる機会を提供する。</p> <p><あさひ健康フェスタ実施内容> ○リアルイベント ・健康まつり ・あさひスマイルウォーキング ・健康関連ブース ・楽農まつり ○オンラインイベント ・動画コーナー ・クイズコーナー等 ○健康都市を巡るSDGsキーワードラリー ○健康都市・SDGs展</p> <p>50周年記念の冠事業とする。 新型コロナウイルスの感染防止に配慮した内容とする。</p> <p>【結果】 新型コロナウイルス感染拡大防止により、リアルイベントは中止。その他オンラインイベント等を充実する。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 「健康の日」に実施した事業数	件	55	2	60	14	
	B						
成果指標	C 「健康の日」に実施した事業への参加者数	人	3,885	0	2,000	530	
	D						
事業費 計			1,566	450	3,300	3,126	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他				500	500
		オ 一般		1,566	450	2,800	2,626

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 4/1～5/31に、オンラインイベントとして、クイズコーナーや動画コーナーなどを特設サイト上に設け、約8000回のアクセスがあった。また、健康都市を巡る SDGsキーワードラリーも同期間に行い、約530人の参加があった。コロナ禍でも、好きなときに感染対策をしながらできる健康づくりについて、市民に啓発できた。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染拡大の状況により、あさひ健康フェスタのリアルイベント(4/29)は中止したが、オンラインイベント等を実施することで、健康づくりのきっかけを提供できた。</p>
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	新しい生活様式を踏まえたあさひ健康フェスタの実施方法を検討します。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	新型コロナウイルス感染拡大の状況により、4/29に実施予定であったリアルイベントは中止としたが、コロナ禍でも気軽に参加できるよう、オンラインイベントやSDGsキーワードラリー、健康都市×SDGs展を4/1～5/31に実施した。		

保健・健康推進事業審議事務

[11]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0103	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	尾張旭市健康推進委員会条例に基づく委員会で、14名の委員をもって構成する。 ・任期：2年、委員構成 14名(学識経験者(4名)：瀬戸保健所、旭労災病院、公立陶生病院、大学、各種団体(8名)：瀬戸旭医師会、尾張旭市歯科医師会、尾張旭市薬剤師会、自治連合協議会、地域婦人団体連絡協議会、スポーツ協会、健康づくり食生活改善協議会、愛知県健康づくりリーダー連絡協議会瀬戸支部、市民公募(2名)) (内容) 本市の健康推進事業に関することを審議する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
本市が取り組む健康推進事業が効果的かつ円滑に実施できるよう審議されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 委員会開催数	回	1	3	1	1
	B 委員会にて審議されたことにより健康推進事業が円滑に実施できた事業数		1	1	1	1
成果指標	C					
	D					
事業費 計			64	116	77	
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	64	116	77

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
【成果向上余地】		
		未設定

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

市民総元気まる事業

[3]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0104	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	【事業内容】 <元気まる測定(18歳以上の市民)> 元気まる測定(保健福祉センター)、出張元気まる測定(出前講座)、問診のみの元気まる測定「～の内容」 問診、体力測定(省略有)、健康相談の実施、受検結果に応じ保健指導を実施 ネットDE元気まる(インターネット版簡易元気まる測定) 体の元気まる、心の健康度チェック「こころの天気予報」
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<あたまの元気まる(40歳以上で要介護・要支援認定を受けていない市民)> ・インターネットを使う軽度認知障がいチェックテストを実施(H25.5.20開始) 軽度認知障がいの段階の認知機能の低下を発見し、保健指導等で正しい生活習慣などから認知症予防実践へ導く・保健福祉センターにて週2回実施(月、木) ・令和2年5月より新型コロナウイルス感染症対策も兼ねてIPフォンを利用した電話での受検も可とした。その他に健康まつり、市民祭、出前講座でも実施。 平成29年度より、介護予防把握事業に位置づく。
<元気まる測定> 生活習慣病予防のため、元気まる測定を受検する市民が増加している。 <あたまの元気まる> 認知症予防のため、あたまの元気まる測定を受検する市民が増加している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 元気まる測定、あたまの元気まる実施回数(出前含む)	回数	143	118	180	97	
	B 元気まる測定、あたまの元気まるの出前による実施回数	回数	45	25	55	16	
成果指標	C 元気まる測定、あたまの元気まるの受検人員数	人	1,541	963	1,800	810	
	D 元気まる再検者で結果が維持・向上した人員割合	%	69.4	80.5	80	88.2	
事業費 計			4,578	4,362	4,962	25,865	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	146	153	111	108
		ウ 地方債					
		エ その他		2,288	2,180	2,481	2,786
		オ 一般		2,144	2,029	2,370	22,971

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 成果指標C: 受検人員数が年々下がっている。成果指標D: 元気まる再受検者で結果が維持・向上した人員割合が上昇した。 (原因) 成果指標C: 令和3年度はコロナウイルスの影響で、一般元気まる、出前講座の申し込みが減少したことが要因となっている。 成果指標D: 令和3年度は全受検者のうち、出前講座や一般元気まるの受検者が減少し、健康づくり教室参加者の割合が多かったことが要因となっている。
--------	--	---

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	元気まる測定の事業評価を実施し、事業の方向性を検討します。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
従来の元気まる測定を見直し、コロナ禍の中新しい生活様式に対応できるよう、ICTの活用を取り入れながら、保健指導ができるようリニューアルし、システムを構築した。令和4年度から運用開始予定。			

生活習慣病予防事業

[4]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0105	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<p>教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センターで18歳以上の市民に対して、以下の教室を実施。講義や実技を通して健康づくりのポイントを学ぶ。 ・参加者の募集は、ポスター・チラシの掲示、広報尾張あさひ、個別案内を中心に行う。 <p><メニュー></p> <ul style="list-style-type: none"> ちょいやせ道場：定員20名×12回×1コース 骨コツヘルスアップ教室：定員25名×6回×1コース 知って得する！健康プラス教室：定員20名×4回×1コース STOP！糖尿病：定員20名×7回×1コース ヤングのうちから健康みつめ隊：定員15名×3回×1コース 運動教室：定員12名×12回×1コース <p><スタッフ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師、運動指導員、健康づくりリーダー、医師、管理栄養士、歯科衛生士など <p>生活習慣病保健指導事業(11-0203)では、健康づくり教室事業(11-0105)へ平成31年度より二つの事業を統合する。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	健康づくり教室や保健指導を通じて、健康的な生活習慣について正しく理解し、実践する市民が増加している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 教室開催回数	回	31	31	46	44	
	B 教室参加人数(述べ人数)	人	422	412	420	290	
成果指標	C 健康的な生活習慣を理解し実践しようと思った参加者割合	%	100	100	100	97	
	D 健康づくり教室が役に立ったと思う参加者の割合	%	100	100	100	97	
事業費 計			4,548	873	1,014	705	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	508	455	147	193
		ウ 地方債					
		エ その他		19		39	
		オ 一般		4,021	418	828	512

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり	<p>状況 成果指標はC、Dともに3ポイント低下。 原因 成果指標Cについては、STOP！糖尿病で1名が「どちらともいえない」と回答があり低下。しかし、「役に立ったと思う」に回答している。 また、成果指標Dについては、あなたのためのちょいやせ道場で、1名が「どちらともいえない」と回答があり低下。しかし、「実践しようと思った」と回答している。 成果指標C、Dともに低下はしたが、生活習慣の改善の動機づけ支援にはつながっていると考える。</p>
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康増進普及啓発事業

[5]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0106	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>80歳以上の市民</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民が増加している。</p>	<p>8020運動</p> <p><内容> 80歳になっても自分の歯が20本以上残るよう、日ごろから歯科保健を意識していただき、歯を残すとともに健康に過ごしてもらおう事を目的とした国民的運動</p> <p><対象者> 80歳以上で自分の歯が20本以上ある者(以前表彰されていないかた)</p> <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療機関より推薦していただき、表彰対象者となる。 ・表彰対象者となったかたには表彰式の通知を出し、表彰式にて表彰する。 ・内容は、市長あいさつ、来賓祝辞、表彰状の授与等 ・当日、表彰対象者に歯の健康管理等を聞き、広報、各種健康づくり教室等で市民にPRする。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 8020運動達成者	人	93	122	150	149
	B 8020運動表彰式	回	1	1	1	1
成果指標	C 8020運動達成者の割合	%	1.5	1.9	2	2.0
	D					
事業費計			344	239	438	404
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	344	239	438

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 達成者(表彰者)は年々増加傾向となっている。</p> <p>(原因) 歯の健康寿命の延伸と高齢者の人口が増えていることが要因である。</p>
--------	---	--

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康づくり推進員による健康増進普及事業

[7]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0107	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員の養成及び育成 市民から健康づくり推進員を募集し、健康づくりに必要な知識・技術の習得のため、養成講座を実施(平成16年度、19年度、23年度、27年度 令和2年度)。 健康増進普及 3つの活動の柱を設定し、市と協働して健康づくり事業の実施及び推進を行い、市民が健康づくりに取り組む機会を増やす。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><3つの活動の柱></p> <ul style="list-style-type: none"> 「筋トレ」：らくらく筋トレ教室にスタッフとして参加、自主活動の支援 「ウォーキング」：定例ウォーキング開催、効果的な準備体操の検討 「笑いと健康」：笑いを取り入れた健康体操等の普及 <ul style="list-style-type: none"> 定例会の開催 月1回開催し、具体的な活動内容等について検討。
健康づくり推進員の人数及び活動機会が増加し、市と協働して健康づくりを推進・普及することができる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 健康づくり推進員養成講座・育成研修・健康講座の開催日数	日	5	7	5	4
	B 健康増進普及事業に関する推進員の活動日数(役員会、定例会、定例ウォーキング等計上。らくらく筋トレは含まず)	日	45	35	55	24
	C 健康づくり推進員の養成・育成人数(実人員)	人	30	36	28	28
	D 健康増進事業等に主体的に関わった健康づくり推進員の割合	%	96.7	89.7	100	92.9
事業費 計			221	134	248	210
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	221	134	248

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(状況) 指標は全てにおいて低下した。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、定例会をはじめ健康づくり推進員の活動が中止になったことが影響している。推進員の高齢化により、活動を辞退される方や養成講座が実施できなかったため推進員の実数は減少した。</p>
--------	--	---

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

筋力トレーニング事業

[1126]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0108	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	40歳以上の市民	<p><らくらく筋トレ体操></p> <p>1 地区集会所等を会場とし、「らくらく筋トレ教室」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手足に巻くおもりをつけ、椅子を使用した筋力トレーニングを行う。 ・週1回、12回1コース(教室前後の元気まる測定を含む)×2クール ・保健師、運動指導員、看護師、健康づくり推進員他、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士も健康教育スタッフとして従事。 <p>2 教室終了後も自主活動グループとして継続できるよう、健康づくり推進員とともに支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な元気まる測定の受検勧奨 ・研修や講習会等の案内 <p>ぴんぴんフィットネスクラブは、平成28年度末で事業廃止 平成29年度より、地域介護予防活動支援事業に位置づく</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 筋力トレーニング事業参加者数(実参加者数)	人	437	1,666	1,566	1,610	
	B 筋トレ自主活動グループ数(教室終了後に自主グループとなった以外のグループも含む)	箇所	64	66	67	66	
	成果指標	C 参加者の中で筋トレの効果を実感している人の割合	%	100	80	100	80
		D 自主活動での筋トレ参加者(実参加者数)	人	1,500	1,600	1,420	1,600
事業費 計			306	1,238	316	227	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		152	121	158	113
		オ 一般		154	1,117	158	114

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり	<p>状況</p> <p>成果指標Dについては、後期らくらく筋トレ教室や自主活動グループへの新規加入者により維持している。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染予防により、一部自主グループの活動自粛及び参加者数の減少があり、低下していく可能性あり。また、参加者の高齢化もあり、参加者数や自主活動グループ数の維持・増加のためには、既存の自主活動グループの活動支援も検討していく必要あり。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

骨髄バンク移植ドナー等支援事業

[1349]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0115	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(骨髄バンクドナー登録者) 骨髄バンクドナー登録者の勤務先事業所	公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄・抹消血幹細胞の提供者となった市民及びその者を雇用する事業所に対し、骨髄等の提供者を促し、より多くの骨髄等の移植のつなげることを目的として助成金を交付する。 【助成内容】 1 骨髄・抹消血幹細胞を提供した市民 骨髄等の提供に要した下記に掲げる通院及び入院、1日につき助成金2万円(上限14万円、7日間) 健康診断に係る通院 自己血貯血に係る通院 骨髄等の採取に係る入院 2 勤務先事業所 骨髄等提供に要した通院又は入院、1日につき助成金1万円(上限7万円、7日間)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

骨髄バンクドナー登録者及び勤務先事業所の移植に関する負担を軽減し、骨髄提供に協力できる。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 骨髄バンク制度普及啓発に関する広報・事業等の回数(助成制度含む)				4	3	
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計					210		
財源内訳		ア 国	千円				
		イ 県				105	
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般					105

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) (原因)
--------	---	--------------

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	新規
	広報、ホームページ、献血時、各種イベント時などにおいて周知啓発活動を実施します。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

広報(4月1日号)、ホームページにて周知啓発を実施。また、11月の市役所での献血時に献血協力者に対し、助成制度の案内チラシを配布、説明するなど啓発活動を実施した。なお、6月の献血は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

健康相談事業

[10]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0201	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	健康相談 <内容> 保健師による健康相談 <開催場所・日時・回数> 健康課窓口での相談や電話相談を毎日午前中(2時間)開催する 精神保健福祉相談・・・福祉課へ移管、場所は保健福祉センター <内容> 精神保健福祉士による精神保健福祉相談(予約制) <開催場所・日時・回数> 健康課での来所相談や電話相談。毎週水曜日(定員4名)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	栄養相談 <内容> 管理栄養士による栄養相談(予約制) <開催場所・日時・回数> 健康課での来所相談や電話相談。毎月第4金曜日 労務相談 <内容> 労務職員を対象に行う健康相談(保健師) <開催場所・日時・回数> 健康課で健康相談・血圧測定。毎月第3金曜日
	必要時に相談し、支援を受けることができる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 相談開催回数(市役所開庁日+精神福祉相談日報枚数+栄養相談回数)	回	303	293	300	282
	B					
成果指標	C 相談延件数	人	1,974	1,829	2,000	1,425
	D					
事業費 計						
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況)健康相談件数は減少している。 (原因)必要な時期に相談を受ける機会は整えているが、相談件数が減少しているのは、新型コロナウイルスの影響が要因である。
--------	--	---

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

母子保健指導事業

[11]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0202	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(妊産婦とその家族及び乳幼児の保護者)	<p><母子健康手帳の交付> 妊娠届出者に対し、窓口にて随時交付、妊娠・出産等に関する知識の普及と相談対応</p> <p><パパママ教室> 妊娠・出産・育児などに関する知識の普及</p> <p><産婦・新生児訪問、未熟児訪問、産後ケア事業> 助産師による家庭訪問、相談・保健指導</p> <p><養育支援訪問事業> 養育支援訪問員・保健師等の訪問による養育の支援、諸問題の解決・軽減</p> <p><育児健康相談> 窓口や電話及び家庭訪問などによる相談対応</p> <p><妊産婦栄養教室> 妊娠期から健康に留意した食生活に取り組むための知識の普及</p> <p><離乳食教室> 離乳食についての知識の普及</p> <p><利用者支援事業> 妊娠期から出産、育児の切れ目ない相談・支援の継続(母子保健コーディネーター(助産師2名・保健師1名雇用))</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

妊産・出産・育児などに対する知識の普及や発育・発達等に関する事業の参加者が増加する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 母子保健指導実施事業数	事業	160	99	165	67
	B					
成果指標	C 母子保健指導各種教室等年間のべ利用者数	人	3,211	1,851	2,500	1,767
	D					
事業費 計			5,050	1,621	2,464	1,083
財源内訳		ア 国	1,443	49	153	11
		イ 県	1,363	49	53	2
		ウ 地方債				
		エ その他	37		74	
		オ 一般	2,207	1,523	2,184	1,070

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) R2実績とR3実績を比較すると、減少している。</p> <p>(原因) オンライン対応のできる教室もあるが、対面で実施すべき教室もあるため、新型コロナウイルス感染症の感染状況の影響を強く受けたことから、事業自体の中止だけでなく、教室開催回数、利用者ともに減少するに至った。</p>
--------	--	--

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

新型インフルエンザ対策事業（健康課）

[1179]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0204	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要 (03年度分)	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	<p>新型インフルエンザ等の感染症対策</p> <p>意図（対象をどのような状態にしたいのか）</p> <p>感染症発生時の拡大防止に備え、消毒薬等の備蓄が行えている。</p>	<p>新型インフルエンザ等感染症発生時に備え、必要な備蓄品を整えておく。</p> <p><主な備蓄品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク：9,000枚（感染症発生時の初動対応用） ・エタノール：40L（500ml×80本） <p><管理方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理のため、年2回に分散して購入する。 ・エタノール等使用期限の近くなった備蓄物品については、消防署で有効利用していく。 <p><検討事項></p> <p>防護服、N95マスク、感染防止用手袋等の備蓄については、消防署と合同で効率的かつ有効に備蓄・管理する方法を検討する。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 備蓄品保有率	%	86.7	100	100	63.3
	B					
成果指標	C					
	D					
事業費 計			80	62		
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		80	62	

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>
--------	--

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	備蓄品の内容と量について検討します。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

R3年度については予算措置がないため、備蓄品の購入ができず保有率は減少した。使用用途を再考し、内容・量について今後の購入計画を検討した。

新型コロナウイルス対策事業

[1343]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0205	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 地域経済	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	新型コロナウイルス感染症によって生じている諸課題に対し、各種対策を行う。 ・感染患者等利用施設の消毒作業 感染患者等が利用した施設の消毒作業を行う。 ・修学旅行等キャンセル料の助成 感染症の影響により修学旅行等を中止する場合に発生するキャンセル料の保護者負担分を助成する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			
	地域経済等の回復に向けた対策や感染拡大防止ができています。			・新型コロナウイルス対策事業費補助金 民間保育所や民間学童クラブでの新型コロナウイルス感染症対策を支援する。 ・新型コロナウイルス感染症対策 子育て支援施設での対策(消毒液、フェイスシールド、スポットクーラーの整備等)を継続する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A						
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計		千円			65,000		
財源内訳			ア 国			208	
			イ 県			483	
			ウ 地方債				
			エ その他				
			オ 一般				64,309

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) (原因)
--------	--	--------------

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

新型コロナウイルスワクチン接種事業

[1357]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0206	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 ワクチン接種推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(接種対象者)	<実施方法> ・瀬戸旭医師会に委託し、集団接種(渋川福祉センター)及び個別接種(接種実施医療機関にて)を実施。 ・対象者に接種券(クーポン券)を送付し、対象者が市コールセンター、市WEBシステムまたは医療機関で予約をして、接種。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<周知方法> 個人通知、広報、HP等による周知 <その他> ・市新型コロナコールセンターを設置 ・集団接種会場への送迎バスを運行 ・65歳以上の市民に対し市営バスの新型コロナワクチン接種時用の利用券を発行
	予防接種を実施し、新型コロナウイルスに対する抵抗力(免疫)をつくり、個人が新型コロナウイルスに感染して発病しない、重症化しない。また、周囲に感染症を拡大させない。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A					
	B					
	C					
	D					
成果指標	事業費 計			27,837		
	財源内訳	ア 国	千円	27,837		
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) (原因)
--------	---	--------------

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	未設定
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

歯科健康診査事業

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	11-0301	実施 計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合 戦略
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(健康診査対象者)	<p>【成人歯科健康診査】 30歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳を節目健診として、20歳と特定健診結果が積極的支援の者、禁煙外来治療費助成金交付者に対し無料クーポン健診として個別歯科健診を実施。 <実施期間> 節目健診、20歳：6～12月、無料クーポン健診：交付日から1年間 <内容> 歯科健診、保健指導、X線撮影 <自己負担金> (一部免除制度あり) 歯科健診：500円 X線撮影：500円 <周知方法> 市広報誌や個人通知(受診券付)など</p> <p>【妊産婦歯科健康診査】 市内在住の妊産婦に、個別歯科健診を実施。 <実施期間> 母子健康手帳交付日から産後1年以内 <内容> 歯科健診、保健指導 <自己負担金> なし ・母子健康手帳交付時に受診券を配布 各種歯科健康診査は尾張旭市歯科医師会に委託</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	受診者が増加し、歯の健康への関心が高まり、歯周疾患による歯の喪失の予防ができています。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 成人歯科健康診査受診者数	人	1,269	1,068	1,320	1,299	
	B 妊産婦歯科健康診査受診者数	人	247	277	270	273	
成果指標	C 個別歯科健診の受診率(成人歯科健康診査)	%	13.1	11.3	13.9	13.8	
	D 個別歯科健診の受診率(妊産婦歯科健康診査)	%	41.1	45.6	42	47.7	
事業費 計			10,190	8,980	10,840	10,921	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県	千円	1,729	1,363	1,738	1,681
		ウ 地方債					
		エ その他		96	89	100	100
		オ 一般		8,365	7,528	9,002	9,140

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<成人歯科健康診査> (状況) 受診率が2.5ポイント増加した。 (原因) 受診勧奨ハガキを全年齢に送付した効果もある。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	<妊産婦歯科健康診査> (状況) 受診率が2.1ポイント増加した。 (原因) 対象となる妊婦数は減少傾向にあるが、産後1年間は受診可能な健診のため、前年度の受診券交付者が受診することで受診率が増加した。
	【成果向上余地】 余地为小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	妊産婦歯科健診に関する周知方法等の見直しを検討します。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
妊産婦歯科健診受診票を交付する母子健康手帳交付時に直接受診勧奨を行った。			

保健事業情報管理

[14]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0302	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	健康情報システムにより、市民の健康診査情報や予防接種情報等を管理し市民の健康管理及び保健事業の円滑化を図っている。 (情報機器) 健康情報システム：パソコン6台、プリンター1台 (主な業務) 予防接種業務、乳幼児健康診査業務、成人健康診査(がん検診)業務、歯科健康診査等の情報管理 (システム更新) 平成29年度3月に新規に稼働した健康情報システムは、令和3年度にシステム保守委託等の長期継続契約が終了したため、更新を行った。(長期継続契約：令和8年2月未まで)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	市民の健康管理及び統計分析、各保健事業等が適正、円滑に実施されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 保守・運用等委託料	千円	5,709	3,055	4,824	13,119
	B					
成果指標	C					
	D					
事業費 計			5,709	3,055	9,079	13,119
財源内訳		ア 国	928		1,356	2,444
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	4,781	3,055	7,723	10,675

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

予防接種事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	11-0304	実施 計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>市民(接種対象者) 乳幼児・児童生徒(A類疾病)の接種対象者は、定期接種実施要領による標準的な接種期間に該当する者とする。そのため、成果指標が100%を超える場合がある。</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>感染症にかからず拡大しないように予防接種を受ける市民が増加している。</p>	<p><実施方法> 瀬戸旭医師会に委託し、BCGは集団接種(保健福祉センターにて)年12回実施。その他は個別接種(接種実施医療機関にて)で実施。要注意者(アレルギー等の持病のある者)は公立陶生病院に委託。 *愛知県広域予防接種:かかりつけ医が県医師会予防接種協力医である場合、県内市町村で接種が実施できる制度。 *償還払い制度:里帰り出産・入院等で県内実施医療機関で接種できない場合、予防接種費用助成金要綱に基づき、定期接種のみ助成金を交付。</p> <p><周知方法> 個人通知、広報、HP等による周知 乳幼児健康診査・就学時健康診断時に接種状況の確認と勧奨</p> <p><その他> ・高齢者等肺炎球菌・高齢者インフルエンザ:一部自己負担金あり。 ・風しん抗体のない妊娠を希望する女性に風疹ワクチン接種助成:上限5,000円 ・こどもの予防接種スケジュールを管理するモバイルサイト「あさびー予防接種ナビ」を配信 ・風しん追加的事业:平成31年度からR3年度までの時限措置</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 集団接種回数	回	12	12	12	12
	B 定期予防接種個別接種委託医療機関	個所	94	98	95	98
成果指標	C 乳幼児・児童生徒(A類疾病)の定期予防接種率	%	97.7	102.1	95	91.8
	D 高齢者インフルエンザ(B類疾病)の予防接種率	%	50.6	69.8	50	58.1
事業費 計			234,650	303,708	271,157	263,019
財源内訳		ア 国	6,160	9,542	9,169	5,173
		イ 県	20	25	35	10
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	228,470	294,141	261,953	257,836

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>【成果指標C】日本脳炎ワクチンの供給が大幅に減少し、接種できない状況が生じたことにより接種率が低下した。</p> <p>【成果指標D】令和2年度は、高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担額が県の補助事業により全額免除されたことから、接種率が大幅に向上したが、令和3年度は例年通り自己負担額1,200円での実施となったことから、接種率が低下した。</p>
--------	---	---

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

がん検診等健康診査事業

[19]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0307	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)
 職場等で健診を受ける機会のない市民
 40歳以上：肺・胃・大腸・医療保険未加入者の健診、40歳以上隔年女性：乳、20歳以上隔年女性：子宮、50歳以上3歳刻み男性：前立腺、40歳以上5歳刻み及び41歳以上で肝炎検診受診歴なし：肝炎

意図(対象をどのような状態にしたいのか)
 疾病の早期発見・早期治療、健康保持のために、がん検診、健康診査を受診する市民が増加する。

手段(事務事業の内容、やり方、手順)
 ・連絡調整、委託契約：4～5月に、瀬戸市及び瀬戸旭医師会と事前調整し、委託契約を締結。
 ・受診券送付：5月中旬に対象者へ個人通知。
 ・健康診査：6～10月に、尾張旭市・瀬戸市の実施医療機関で実施(胃内視鏡検査による胃がん検診は11月、子宮頸がん検診及び乳がん検診は12月まで実施)。
 ・周知方法：対象者への受診券送付、広報及びホームページ、コミュニティビジョンで周知。
 ・要精密検査となった者の追跡：精密検査の受診勧奨とともに精密検査結果の追跡調査を実施。

ヤング健診
 ・連絡調整・委託契約：3～4月
 ・周知(ポスター・広報・あさびーLINE・コミュニティビジョン・子育て応援メール)：6～7月
 ・受付：7～8月(電話・電子申請・窓口)
 ・実施：9月(落札した業者に一部業務委託・保健センターで実施)
 ・結果返却：10月(結果説明：保健センターで実施。郵送で結果返却)
 R2より集団健康診査事業(11-0306)が、当該事業に統合された。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 対象者への受診勧奨通知件数	件	55,184	55,663	56,200	56,714
	B 医療機関及び受診者への精密検査照会回数	回	5	4	5	6
成果指標	C 各種がん検診受診率(平均)	%	29.9	28.2	35	28.6
	D 精密検査不検率	%	0.86	11.6	9.8	6.6
事業費 計			190,179	171,905	205,799	186,658
財源内訳		ア 国	2,086	2,164	3,099	2,161
		イ 県	3,258	3,025	3,590	2,973
		ウ 地方債				
		エ その他	3,573	3,315	4,342	3,357
		オ 一般	181,262	163,401	194,768	178,167

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況)受診率は低下したが、精密検査不検率は向上した。 (原因)受診率の低下は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えが要因として考えられる。精密検査不検率は、精密検査医療機関への追跡調査の時期を早め、追跡回数も増やしたことも向上した要因である。 (余地の選定判断)検診の精度管理を維持するため、瀬戸旭医師会等との協議をした上で、検診実施体制の整備を図った。また、要精密検査未受診者に関する追跡調査の時期を例年より早め、一次健診・精密検査実施医療機関への結果照会、本人へのアンケートにて受診勧奨の機会を増やすことができた。
--------	--	--

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

妊婦・乳幼児健康診査事業

[20]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0401	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(妊婦・乳幼児とその保護者)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦・乳児(1か月、10か月健診)の医療機関委託の公費負担の受診券(妊婦14枚と子宮がん検診、産婦1枚、乳児2枚、新生児聴力検査1枚)交付。 ・出生届より、乳幼児管理カードを作成。乳幼児健診、訪問、相談等の管理。 ・乳幼児健康診査(健康教育(成長、育児、口腔ケア)、身体計測、診察、フッ素塗布、個別相談など)の実施。3か月(医師会に集団健診委託)、1.6歳(医師会、歯科医師会に集団健診委託)、3歳(医師会、歯科医師会、公立陶生病院に集団健診委託)、2.3歳(歯科医師会に委託) ・健康診査結果に応じて事後指導を行なう。 ・必要に応じ、各関係機関(児童館、発達センター、ピンポンパン教室、医療機関等)と連絡をとりながら保育、療育指導を行う。 ・未受診者に対し、対面による状況把握に努める。 ・2歳3か月児の歯科健診時に健康相談実施。(H22~) ・6か月児健康診査を健康相談に体制変更。(H23~)、赤ちゃん育児・離乳食相談へ名称変更。(R3~)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>疾病や障害の早期発見、早期対応ができる。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 集団健康診査・健康相談開催回数(3か月, 6か月, 1歳6か月, 3歳児健診、2歳3か月児健康相談)	回	58	62	66	66
	B 健診後追跡者数(要フォロー児数)(延人員)	人	926	910	920	997
成果指標	C 乳幼児健康診査(集団)の受診率	%	95.9	97.1	97	95.4
	D 健康診査の未受診者のうち状況を把握できた割合	%	86.5	86.5	97	92.9
事業費 計			67,216	74,976	79,309	76,273
財源内訳		ア 国	2,628	1,948	1,575	1,575
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	64,588	73,028	77,734	74,698

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 成果指標Cについては1.7ポイント低下したが、成果指標Dについては6.4ポイント向上した。</p> <p>(原因) 成果指標Cについては小児科診察がない健診の受診率が低い傾向にあることが要因である。成果指標Dについては、未受診者に対し、家庭訪問や電話相談等個別での対応を積極的に行ったことが要因である。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	新生児聴覚検査の費用助成を開始します。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	対象児に対し、受診票送付または配布し、費用助成を実施。		

乳幼児歯科保健事業

[1000]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0402	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(健康診査対象者)	<p>< 歯科健診事業 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 個別歯科健診: 6歳児歯科健診 集団歯科健診: 1歳6か月児、2歳3か月児、3歳児、4歳児、5歳児歯科健診 <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 6歳児: 歯科健診、フッ素塗布又はシーラント処置、保健指導 その他: 健康教育、歯科健診、フッ素塗布、保健指導 <p>周知方法: 広報や個人通知、保健サービス予定表などで周知を図る。 6歳児歯科健診は、個人通知とともに受診券を送付</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>・ 受診期間</p> <ul style="list-style-type: none"> 6歳児: 6歳の誕生日から7歳の誕生日の前日まで受診券有効 その他: 保健サービス予定表に沿って実施 <p>・ 集団健診の4歳児、5歳児歯科健康診査及び個別健診の6歳児歯科健康診査は尾張旭市歯科医師会に委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己負担金は無し <p>< 保育園、小学校歯みがき指導 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内保育園及び小学校で歯みがき指導を行う。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 健康診査開催回数(1.6歳児~6歳児歯科健診総計)	回	53	62	56	58
	B 乳幼児歯科健康診査の受診者数(1歳6か月、2歳3か月、3歳、4歳、5歳、6歳児年齢別)	人	2,410	2,966	2,900	2,465
	C むし歯のある乳幼児割合	%	3.2	7.6	3.2	2.6
	D むし歯のある6歳児割合(人数)	%	25.5	19.9	25.5	22.8
事業費 計			5,192	6,051	5,779	5,507
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		5,192	6,051	5,779

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	< むし歯のある乳幼児 > (状況) 前年度より5.0ポイント減少した。 (原因) 感染症によりR元年度事業をR2年度に一部延期したことや一部健診の実施方法を変更したため、前年度比の単純な比較はできないが、う蝕有病者率は県内平均より低い数値を保っている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	< むし歯のある6歳児 > (状況) 前年度より2.9ポイント増加した。 (原因) 年度差の範囲内である。
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

ブックスタート事業

[21]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0403	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(生後6か月の乳児とその保護者)	赤ちゃん育児・離乳食相談の会場(保健福祉センター)にて、ブックスタート事業に関する案内と絵本を1冊ずつ保護者に無償配布し、赤ちゃんとコミュニケーションをとる方法の1つとして、絵本の読み聞かせを紹介する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
絵本を介して子どもとのコミュニケーションを深めようとする親が増加する。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 絵本配布数	冊	537	635	630	624
	B ブックスタートを受けた組数	組	536	635	630	621
成果指標	C ブックスタートを受けた組の割合	%	96.6	100	96	99.5
	D 本等を介して子どもとのコミュニケーションが増えた乳幼児保護者割合	%		83.7	80	85.3
事業費 計			532	488	500	489
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		532	488	500

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標Cについては0.5ポイント低下したが、成果指標Dは1.6ポイント上昇した。 (原因) 成果指標Cについては、赤ちゃん育児・離乳食相談の場で絵本をお渡ししており、来所のない場合は訪問や電話等で状況確認と合わせブックスタートについて説明をしているが、絵本をお渡しできなかったケースがあったことが要因である。成果指標Dについては、子が6~7か月の時期に実施することで、子どもとのコミュニケーション方法を知ることができ、実践した保護者が増えたことが要因である。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

不妊治療費等補助事業

[1110]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0404	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民(不妊治療を受けた夫婦)	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 不妊治療補助の相談、受付(100件×30分×2回 100時間) 補助金審査(所得、住民情報、内容チェック)事務(80件×40分 60時間) 交付決定、通知事務(80件×30分 40時間) 支払事務(80件×20分 20時間) 県への助成金交付申請事務(180分×3回 10時間)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	費用の一部を助成することにより、不妊治療の経済的負担の軽減が図られている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 補助金申請件数	件	69	82	80	86
	B 補助金交付件数	件	69	82	80	86
成果指標	C 補助金交付者のうち、適正交付された率	%	100	100	100	100
	D 補助金交付者のうち、母子手帳交付数	件	16	33	20	28
事業費 計			2,526	3,056	2,600	3,185
財源内訳		ア 国				
		イ 県	508	698	500	704
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	2,018	2,358	2,100	2,481

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 成果指標Cについては100%で成果を維持。成果指標D「母子手帳交付数」についてR2年度実績と比較して5件減少、15.2%低下している。 (原因) 成果指標C「補助金交付者のうち、適正交付された率」は100%で事務処理を適正に実施できた。成果指標D「母子手帳の交付件数」の減少については、不妊治療の効果には個人差があり、年度により母子手帳交付数(妊娠者数)は変動する。
--------	--	---

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	新たな手法で制度を周知します。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	×
令和4年4月から不妊治療の保険適用が拡大されることについては、マスコミによる報道が頻繁になされ、助成制度に対する認知も進み、令和2年度から令和3年度にかけて申請件数は増加した。一方、不妊治療の保険適用化に伴い、治療する夫婦の経済的負担の軽減がより図られることになったため、県は助成制度廃止の方向性を打ち出し、令和4年2月に正式に廃止を決定した。こうした状況の中、本市も助成制度の継続あるいは廃止についての検討を優先しており、周知方法の検討はできなかった。			

保健福祉センター維持管理事業

[22]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0501	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	市民参加による健康づくりの推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保健福祉センターの施設・設備	<保健福祉センターの概要> 1階：健康課事務室、社会福祉協議会、地域包括支援センター 2階：健診会場 3階：障がい者デイサービスセンター、調理室、子育て相談課、こども・子育て相談、こどもの発達センター 4階：健康づくりフロア、シアタールーム、子育て支援センター 施設：危険及び故障箇所の修繕・営繕工事 設備：維持管理(委託による保守点検)の実施及び故障箇所の修繕
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
市民の健康増進環境に適し、安全かつ安心して保健活動等が行えるよう施設・設備が適切に維持管理されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 営繕工事施行件数	件	25	23	20	25	
	B 維持管理(保守点検等)実施件数	件	11	11	11	11	
成果指標	C 施設設備維持管理上の重大なトラブル件数	件	0	0	0		
	D						
事業費 計			25,983	25,801	25,401	30,998	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		67	53	71	58
		オ 一般		25,916	25,748	25,330	30,940

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標C「施設維持管理上の重大なトラブルの件数」は発生していない。 (原因) 施設の維持管理が適切に実施できているため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康ボランティア育成事業

[23]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0502	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	市民参加による健康づくりの推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民ボランティア団体	市民と行政の協働による健康関連事業が効果的かつ効率的に出来るよう、ボランティア団体に対しフォローアップ研修や打合せ会を実施。事業におけるボランティアの役割等を明確にした上で、健康づくり・保健事業を協働実施していく。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><市民ボランティア団体と協働実施している健康関連事業></p> <p>栄養関連の健康づくり教室：健康づくり食生活改善協議会 筋トレ関連の健康づくり教室：健康づくり推進委員会 離乳食教室の託児：子育て託児ボランティア ブックスタート事業：ブックスタートボランティア 尾張旭市健康まつり：健康づくり食生活改善協議会、健康づくり推進委員会、あづま会、地域婦人団体連絡協議会、市民ボランティア</p> <p>*事業費については、各事業で計上する</p>
	ボランティアに市民の見本となってもらったり、支援をしてもらうことで健康づくり等に取り組む市民が増えている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 保健事業に関わるボランティア人数	人	269	0	300	8
	B					
成果指標	C 保健事業におけるボランティア活動従事者数	人	149	132	140	61
	D 保健事業に関わるボランティア1人あたりの市民数	人	561	646	610	1,375
事業費 計						
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり	(状況)活動に従事するボランティア数が減っているため、一人当たりの市民数が増加したこととなっている。 (原因)成果指標C「保健事業におけるボランティア活動従事者数」が減少しているのは新型コロナウイルス感染症の拡大により各事業に従事するボランティアに依頼を見合わせているためである。またそれに伴い、成果指標D「保健事業に関わるボランティア1人あたりの市民数」が増加する結果となっている。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、依頼を考慮していく。
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康あさひ21計画推進事業

[24]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0901	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民、団体、地域等	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 市民が健康づくりの主役となり、市民、各種団体、行政が協働して健康づくりに取り組む姿をめざした尾張旭市の健康増進計画(現在は第2次計画)。平成25年度から平成26年度の2か年で、第1次計画の最終評価及び「第2次健康あさひ21計画」(計画期間：H27～36年度)を策定。 令和元年度から令和2年度の2か年で、中間評価及び見直しを行う。 令和元年度：中間評価(検証)のための市民アンケート調査を実施 令和2年度：検証結果を踏まえた中間見直し改定版を作成
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	市民、団体、地域等がそれぞれの役割に基づいて掲げた計画目標が達成されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 各種会議の延べ開催日数	日	1	5	1	0
	B 各種会議への延べ参加者数(アンケート回答含)	人	1,631	96	14	0
成果指標	C 健康あさひ21指標の目標達成率	%	59.1	59.1	65	59.1
	D					
事業費 計			2,795	2,860		
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		2,795	2,860	

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>健康あさひ21計画(第2次)の中間評価(R元年度実施の市民アンケート)では、第2次計画当初の指標の見直しを行い、9分野、93の指標により達成状況(達成、改善、やや改善、悪化の判定基準)を評価した。結果は、93指標のうち55指標で「やや改善」以上に該当し、目標達成率は59.1%で第2次計画当初から比較すると低下の傾向が見られた。</p> <p>R6年度に第2次健康あさひ21計画の最終評価及び検証を実施する予定。(R元年度からの経年比較を行い、第3次計画策定に向けて計画内容の見直しや事業の見直しに活用する。)</p>
--------	--	--

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

禁煙推進事業

[1241]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0902	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	平成26年度に策定した「禁煙・分煙の取組・方針」を見直し、一部改正した健康増進法を踏まえて、「尾張旭市公共施設における受動喫煙防止対策ガイドライン」を平成31年2月に策定し、令和元年5月31日から実施する。 なお、ガイドラインの内容については、ホームページで周知する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ガイドラインの基本方針> 受動喫煙による健康被害をなくします 喫煙マナーを徹底します 禁煙を支援します たばこを吸わない人を育てます
	・公共施設での望まない受動喫煙を防止できている。 ・市民の禁煙を支援し、喫煙者が減少している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 禁煙外来治療費助成事前届出者数	人	31	51	35	9	
	B 禁煙及びマナーアップに関する周知回数		5	2	5	5	
成果指標	C 全面禁煙を実施している施設数	か所	173	168	168	168	
	D 禁煙外来治療成功者数(当該年度末の助成金申請者数)	人	19	26	30	13	
事業費 計			200	263	311	122	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	200	263	311	122

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 なし	<状況> 成果指標Dは低下、成果指標Cは変化なし。 <原因> 医療用禁煙補助薬の製造中止により、禁煙外来での治療を継続することが困難となったため、禁煙成功者数が減少している。
--------	---	--

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康課庶務事務

[938]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	99-0406	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務 課職員	健康課における主な庶務事務 文書の処理(200時間) 庁内外の文書調査報告(50時間) 行政評価の管理(120時間) 郵便物の発送(60時間) 課内の備品・消耗品の調達・管理(6時間) 課内関係書類整理(120時間) 保有パソコンの管理(3時間) 時間外勤務・出張命令の整理(12時間) 財務会計事務(210時間) 予算・決算に関する事務(224時間) 補助金事務(県費)(210時間) 互助会に関する事務(5時間) 施設管理(20時間) 施設契約事務(34時間) 施設の修繕(6時間) 備品の修繕(4時間) 備品台帳の整理・管理(3時間) 公用車の管理(3時間) 委託業務(56時間) 駐車場整理(6時間) 21_市町村保健師協議会等運営負担金を交付(10時間)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	庶務事務の内容に大幅は変更はないが、補助金申請、行政評価、健診事務等業務内容によっては、一時的に事務量が集中することがある。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果指標 事業費	事業費 計			7,120	4,947	5,222	4,907
	財源内訳	ア 国	千円			228	245
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		67	53	66	72
		オ 一般		7,053	4,894	4,928	4,590

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定